

授業科目名	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)(Theory of Teaching Methods and Techniques)		
科目番号	95300(産業技術学部) 85300(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部 保健科学部
担当教員(研究室)	長南 浩人 (障害者高等教育研究支援センター:天久保:メディアセンター401) 加藤 伸子、西岡 知之、谷 貴幸、渡辺 知恵美、垣野内 将貴		
実務経験のある教員による授業科目	高等学校及び特別支援学校で教諭としての指導経験がある教員が、その経験を生かして指導することで、学生は実践的な知識や技能を学ぶことができる。		
免許法施行規則に定める科目区分等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
	教育の方法及び技術／情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
授業の到達目標	本授業は、教育方法と技術に関する基礎的な知識を知り、加えてそれらを用いて実践できるようになることを目的とする。		
授業概要	教育活動を行う際に必要となる方法について、歴史的展開、パラダイムの変遷、授業や学習の理論、教育課程の編成、教育機器の利用などの面から解説する授業である。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、関連図書や文献を読む。(2H) 事後学修 授業後に、資料や文献等を用いて、課題を解決し、また発展的な学習を行う(2H)		
授業計画	第1回:教育方法の概要:教育方法を検討することの意義(担当:長南浩人) 第2回:教育方法の歴史:内外の歴史について概説する(担当:長南浩人) 第3回:授業論の変遷:授業のパラダイム転換について解説する(担当:長南浩人) 第4回:授業デザインの理論と実際:授業計画に関する理論を概説する(担当:長南浩人) 第5回:授業の評価方法(1):授業を評価する際の理論と評価方法について数量的分析について概説する(担当:長南浩人) 第6回:授業の評価方法(2):授業を評価する際の理論と評価方法について質的析法について概説する(担当:長南浩人) 第7回:授業の評価方法(3):授業を評価する際の理論と評価方法について談話分析法について概説する(担当:長南浩人) 第8回:教育における情報通信技術活用の意義と理論(1):概論(担当:渡辺知恵美) 第9回:教育における情報通信技術活用の意義と理論(2):事例、グループ議論(担当:渡辺知恵美) 第10回:情報通信技術を活用した授業の設計(1):オンライン・AI教材(担当:加藤伸子) 第11回:情報通信技術を活用した授業の設計(1):技術を活用した授業設計(担当:加藤伸子) 第12回:生徒のICTリテラシーを身につけるための授業設計(担当:西岡) 第13回:校務における情報通信技術活用(1):学校運営における業務と現状(担当:垣之内) 第14回:校務における情報通信技術活用(2):情報通信技術による最適化(担当:垣之内) 第15回:教育方法論の課題(長南) 期末試験		

テキスト	多田俊文 編「教育の方法と技術」(学芸図書株式会社、2011)
参考書・参考資料等	<p>中学校学習指導要領(文部科学省)</p> <p>高等学校学習指導要領(文部科学省)</p> <p>小野賢太郎 編「教師を目指す人のための教育方法・技術論」(学芸図書株式会社、2012)</p> <p>浅野大介 「教育 DX で「未来の教室」をつくろう」(学陽書房、2021)</p> <p>蓑手省吾 「子供が自ら学び出す！自由進度学習のはじめかた」(学陽書房、2021)</p> <p>五木田洋平 「ICT 主任の仕事術」(明治図書出版、2022)</p>
成績評価方法	期末試験(30%)、レポート(45%)、授業への貢献度(25%)
成績評価基準	<p>A+: 到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている</p> <p>A: 到達目標を達成し、優秀な成績を修めている</p> <p>B: 到達目標を達成し、良好な成績を修めている</p> <p>C: 到達目標を最低限達成している。</p> <p>D: 到達目標に達していない</p>